

イチオシ!

M OVIE

『ラサへの歩き方～祈りの2400km』

チベット東端の小さな村。生涯一度は巡礼したいという老人の願いに応えようと、妊婦、家の建設中に事故に遭った夫婦と末娘、家畜解体を生業にする男など、老若男女11人が集まった。両手・両膝・額(五体)を地面に投げ伏して祈る「五体投地」で、村から1,200km離れた聖地ラサに参詣し、さらに1,200km西のカイラス山に向かう。時間にしてほぼ1年。巡礼の準備から始まり、道中では、出会いや新しい命の誕生、事故や死にも直面する。人に助けられながら、壮大な風景や雪山に沿ってひたすら祈りながら進む、心洗われるチベット巡礼物語だ。(文=高倍宣義)



2015年/中国/1時間58分
監督・脚本：チャン・ヤン
出演：チベット巡礼の旅をする11人の村人たち
公開：7月23日よりシアター・イメージフォーラム(渋谷区)ほか全国順次公開
URL：www.moviola.jp/lhasa
配給：ムヴィオラ

B OOK

『医者のおたまご、世界を転がる。』

東京都内で研修医として修行を積んでいた著者は、「自分の知らない世界をたくさん残したまま、医者になってもいいのか」という疑問から、研修医修了と同時に世界へと飛び出した。医師がないネパールの村、西洋医学を超越した「シャーマン」による診療が行われているインドの奥地、日本人が医療巡回をするケニアのスラムなど、約3年間で訪れた国は52カ国。旅先で何を感じ、そして、なぜ帰国後は救急救命医になる道を選んだのか。本書は、駆け出しドクターが成長する姿を描いた、等身大のエッセイだ。



この本を
1人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ

中島侑子 著
ポプラ社
1,404円(税込)

E VENT

『アフリカ日比谷フェスティバル2016』

54カ国が多種多様な顔を持つアフリカ。このイベントでは、そんな個性溢れるアフリカの文化や食、音楽にどっぷりつかることができる。毎年人気なのが、各国本場の料理が勢ぞろいのフードコート。世界最小の Pasta と言われる「クスクス」や、30種類以上のハーブやスパイスを使った「ヤサ・チキン」などの伝統料理を味わうことができる。また、料理教室や手作りビーズ体験など、体験型のワークショップも盛りだくさん。迫力ある生演奏やダンスといったライブステージにも注目だ。



会期：7月9日(土)・10日(日) 10:00~21:00 (最終日は17:30)
場所：日比谷公園
問：アフリカヘリテイジコミュニティ
TEL：045-479-2275、042-707-1900
URL：www.africah.web.fc2.com/event/j-hibiya2016.html

B OOK

『翻訳できない世界のことば』

外国語の中には、他の国の言語ではそのニュアンスをうまく表現できない「翻訳できない言葉」がある。例えば、イタリア語の commuovere(コムオーベレ)は、「涙ぐむような物語に触れたときに、感動して胸が熱くなる」という意味。インドネシア語の jayus(ジャユス)は、「逆に笑うしかないくらい、実は笑えないひどいジョーク」という、複雑で繊細な意味を持つ。本書はそんな言葉の数々を、著者の感性豊かな解説とユニークなイラストで紹介している。



この本を
1人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ

エラ・フランシス・サンダース 著
前田まゆみ 訳
創元社
1,728円(税込)